

裁判員制度出前講座 in 岡山県立岡山操山中学校

実施
報告



令和7年12月17日（水）、岡山県立岡山操山中学校の3年生約120人を対象に、裁判官による裁判員制度出前講座を実施しました。

最初に、裁判官から、裁判員制度の概要や岡山地裁での裁判員裁判に関する統計結果などを説明した後、架空の強盗致傷被告事件を題材に、裁判官と裁判員役の学生6名による模擬評議を行いました。

模擬評議では、被告人が無罪か有罪かについて、検察官と弁護人の双方の意見にどこか不自然な点はないか、どちらの方が整合性があるか等、様々な点に着目しながら、裁判員役と裁判官との間で活発な議論が行われました。



模擬評議



参加者からの感想

- ・とても分かりやすい内容だったので、楽しく学ぶことができました。
- ・裁判官の貴重なお話や、模擬裁判による解説等、とても分かりやすく、実りのある授業でした。
- ・裁判員制度に関する説明を聞くだけではなく、実際に模擬評議をやることで、より深く裁判員制度を知ることができました。
- ・裁判員はもちろん、裁判に関わる仕事に興味を持ち、将来の夢の候補になりました。授業を受けて良かったです。
- ・裁判官の分かりやすい説明があるので、あまり法律等に詳しくなくても裁判員裁判に参加できそうだと思います。
- ・裁判員裁判に対するイメージが変わるきっかけとなったので、これから先、裁判員に選ばれたら率先して参加したいです。

